

M A R K E T E Y E

マーケット・レポート

情報提供資料
2026年2月3日

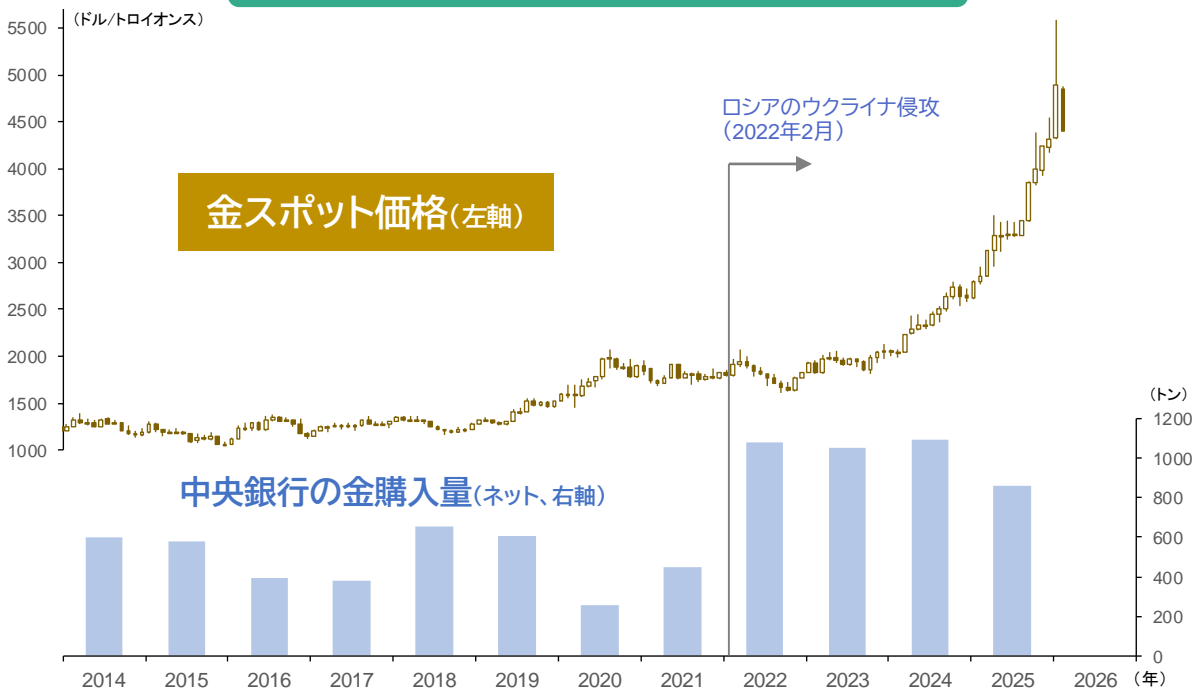
金(ゴールド)価格の急落と今後の見通しについて

金の急落は、米FRB議長人事を材料とした一時的調整

- 金スポット価格は1月28日に付けた最高値5417ドルから14%下落(2月2日時点)
- FRB*¹新議長は緩和に消極的⇒ドル安見通しが後退、との見方が広がり利益確定売り膨らむ
- 足元の調整は急上昇の反動。国際情勢の不安定化等で安全資産「金」への需要増が続く見通し

- 1 2月2日の米国市場で、ニューヨーク金スポット価格は4661.38ドル/トロイオンス(NY時間17時)と続落。1月28日に付けた史上最高値5417.21ドルから14%下落しました。
- 2 急落のきっかけは、トランプ大統領が30日、FRB次期議長にケビン・ウォーシュ元FRB理事を指名したことです。ウォーシュ氏は候補者の中で、利下げに最も慎重とみられていたため、ドル安見通しが後退し、金買いの勢いが目先は鈍化すると見方が広がり、利益確定売りにつながりました。今年に入り金価格は25%以上上昇(1月28日時点)するなど過熱感が高まっていたこともあり、下げ幅が拡大したものとみられます。
- 3 足元、価格変動率が高まっている金ですが、“安全資産”として今後も需要の増大が続くと予想されます。1)インフレによる通貨価値の目減りが続く中、金の相対的な価値は今後も上昇が見込まれること、2)国際紛争など地政学リスクの高まりで「有事の金買い」が続くと見込まれること、3)世界の分断が進みドルに代わる安全な“準備資産”として、中央銀行などによる購入が今後も続くことが予想されます。

金(ゴールド)価格と中央銀行の金購入の推移



【出所】ブルームバーグからの提供データ等に基づき、りそなアセットマネジメントが作成

※当資料の使用に際し、最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

作成：運用戦略部 投資戦略グループ チーフ・ストラテジスト 下出 衛
エコノミスト 矢野 大輝



りそなアセットマネジメント

RESONA

〈補足〉

*1 FRB … 連邦準備制度理事会（Federal Reserve Board）。米国の中央銀行の意思決定機関にあたる。

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。